

千葉県感染症発生動向調査情報

2015年 第42週 (10/12-10/18) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		42週	41週	40週	39週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	18	16	18	18
	眼科	5	3	5	5
	インフルエンザ*	28	25	27	27
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	千葉県					千葉県 10/5-10/11 41週
		注意報	10/12-10/18	10/5-10/11	9/28-10/4	9/21-9/27	
			42週	41週	40週	39週	
小児科	RSウイルス感染症	↓	0.44	0.50	0.39	0.17	1.01
	咽頭結膜熱		0.06	0.19	0.17	0.00	0.24
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.39	2.38	1.17	0.78	2.44
	感染性胃腸炎		2.89	2.81	4.06	2.56	2.53
	水痘		0.17	0.19	0.33	0.11	0.23
	手足口病	○★	2.56	2.38	3.83	5.28	2.39
	伝染性紅斑		0.50	0.69	0.89	0.56	0.41
	突発性発しん		0.83	0.94	0.94	0.17	0.51
	百日咳		0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
	ヘルパンギーナ		0.00	0.56	0.72	0.17	0.29
	流行性耳下腺炎		0.50	0.69	0.44	0.56	0.97
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0.07	0.04	0.07	0.04	0.12
眼科	急性出血性結膜炎		0.20	0.00	0.00	0.00	0.03
	流行性角結膜炎	↓	1.60	2.33	3.00	1.20	0.75
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0.00	1.00	0.00	0.00	0.67
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(3件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	70歳代	病原体等の検出	腸管出血性大腸菌感染症	女性	60歳代	病原体の検出及びベロ毒素の確認
結核	女性	70歳代	画像診断				

・結核2件(176)、腸管出血性大腸菌感染症1件(12)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第42週のコメント

<RSウイルス感染症> 前週より減少し0.44となった。過去10年の同時期と比べると多い。

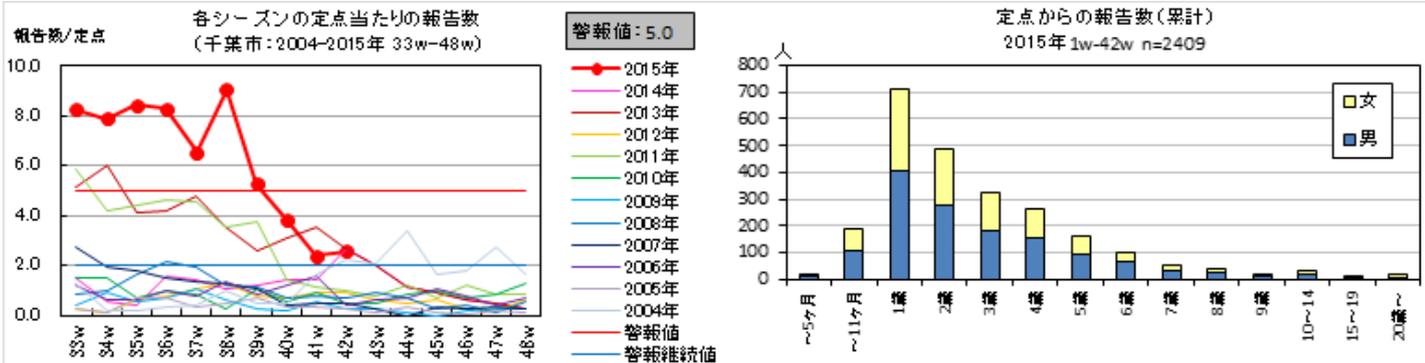
<手足口病> 前週より増加し2.56となった。流行発生警報終息基準値を上回ったままで過去10年の同時期と比べると多い。

<流行性角結膜炎> 前週より減少し1.6となったが、過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

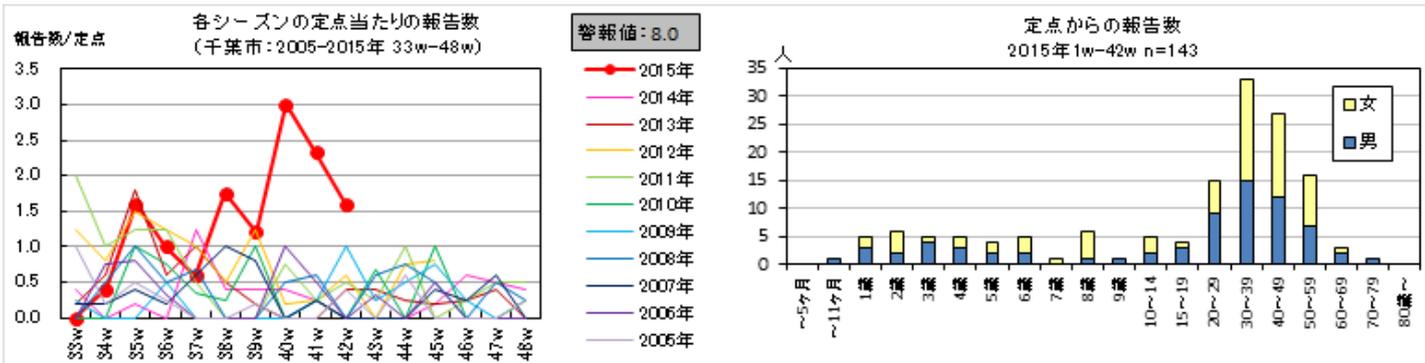
＜手足口病＞

全国レベルの第41週現在は、流行発生警報終息基準値(2.0/定点)を下回りましたが過去8年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、大分県、宮城県、愛媛県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多めとなっています。千葉市の2015年第42週は前週より増加し2.56となり、過去10年の同時期と比べると多く、流行発生警報終息基準値を上回ったままとなっています。区別の発生状況は、稲毛区で流行発生警報開始基準値(5.0/定点)を上回っており、若葉区及び緑区では流行発生警報終息基準値を上回っています。稲毛区(7.67/定点)で最多で、同区の6か月～1歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第42週までの累積報告数(n=2409)によると、性別では男性が57.3%(1378名)、女性が42.7%(1031名)で、年齢階級別では1歳(29.4%:709名)、2歳(20.2%:487名)、3歳(13.5%:326名)の順に多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルは第34週から過去8年の同時期と比べると最多の状態となっており、第41週現在も同様となっています。都道府県別では、宮崎県、熊本県、鳥取県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや少なめとなっています。千葉市の2015年第42週は前週より減少し1.60となりましたが、過去10年の同時期と比べると最多のままとなっています。区別の発生状況は、美浜区(7.0/定点)で流行発生警報終息基準値(4.0/定点)を上回り最多となっており、同区の2歳及び40歳代で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第42週までの累積報告数(n=143)によると、性別では男性が49.0%(70名)で女性が51.0%(73名)で、年齢階級別では30歳代(23.1%:33名)、40歳代(18.9%:27名)、50歳代(11.2%:16名)の順に多くなっています。



＜RSウイルス感染症＞

全国レベルの第41週現在は、過去8年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、山形県、徳島県、福島県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや少なめとなっています。千葉市の2015年第42週は前週より減少し0.44となりましたが、第30週から上下しながら増加傾向となっており過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、美浜区(1.0/定点)で最多となっており、同区の6か月～11か月で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第42週までの累積報告数(n=38)によると、性別では男性が63.2%(24名)、女性が36.8%(14名)で、年齢階級別では6～11か月(36.8%:14名)、1歳(31.6%:12名)、0～5か月(18.4%:7名)の順に多くなっています。

